

## ～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

### ◆VCN° ノー・コントロール

生産地方：オーヴェルニュ

### 新着ワイン3種類♪

#### VdF レ・クロス 2015 (白)

2015年はブドウの質にも量にも恵まれた当たり年！ブドウが完熟し潜在アルコール度数は13.5%を超えた！反対に酸が少し落ちてしまったため、フレッシュさを補うために、今回は樽を使わず全てステンレスタンクで発酵・熟成を行ない、ワインの中に微量のガスも残している！ワインはミネラリーかつ、クリスピーでフレッシュな13.5%のアルコールを感じさせない清涼感がある！染み入るような旨味エキスと心地よい苦みのあるミネラルのハーモニーも良く、一口飲むたびに食欲を掻き立てる絶妙なワインだ！

#### VdF マグマ・ロック 2015 (赤)

今回のマグマ・ロックはガメイ100%！2015年は太陽に恵まれた当たり年だが、出来上がったワインはみずみずしく清涼感のある味わいに仕上がっている！SO<sub>2</sub>無添加なので、開けたては発酵からくる微量のガスでプロテクトされており、フランス語で「Croquant (パリパリした)」という言葉がふさわしい軽快さを感じるが、ガスが消えるとチャーミングで艶やかなダシワインに変わる！ヴィヴィッドなヴァンドソワフが好きな人は開けたてを、ダシの効いた落ち着いた薄ウマのワインが好きな人はカラフをおススメ！

#### VdF フュージョン 2015 (赤)

2015年は、100年を超えるヴィエーユ・ヴィーニュも収量で35 hL/haを超えた超当たり年！オーヴェルニュでワインを仕込んで3年目のヴァンサンだが、2015年は10年に1度くらいのミラクルな年だと直感しているようだ。2015年はブドウのCroquantを残すために、半分はファイバータンクで仕込んでいる！ワインはフュージョンという名にふさわしい旨味が舌に染み入るような味わいで、マセラシオン仕立てのまだ完全にワインとも言えないブドウそのものの風味を感じる！まるでカーヴで出来立てほやほやのワインを飲んでいるようなエネルギー感ある味わいが詰まっている！

### ミレジム情報 当主「ヴァンサン・マリー」のコメント

2015年は、ブドウの量も質も完ぺきな最高の当たり年だった！春のスタートは霜もなく適度な雨のある順調な出だしだった。次に、5月の終わりから雨がほとんど降らない乾燥した天候が続いた。そして、6月の開花はあっという間に終わり、この時点で豊作が期待された！畑の病気は全くなし！だが、5月の終わりから続く日照りの影響で、房は多く実っているが、水不足でブドウの粒の大きさが縮小しているのが見て取れた。加えて、夏の猛暑でブドウの成長にブレーキがかかり始めた。このまま日照りが続くとブドウが未熟のまま収穫に突入する心配があったが、幸いにも8月18日、20日、30日とまとまった雨が降ってくれたおかげで、再びブドウの成熟にアクセルがかかった！そのまま9月も好天に恵まれ、最終的に1 ha 平均40 hLの完熟したブドウを取り込むことができた！

### 「ヨシ」のつ・ぶ・や・き

オーヴェルニュの新星ノー・コントロールの2回目のワインが日本上陸！去年、畑を2 ha から5 ha に増やしたこともあり、2015年はラインナップが増えて更に充実♪

次回、新しくリリースされるワインにロゼペティアンやピノノワールなどが加わるが、キュヴェ名はいずれも彼の好きなロックにちなんだ名前が付いている！ヴァンサン自体、根は真面目で優しく仕事熱心だが、

スタイルは耳にピアスそして両腕にタトゥー、いやプチタトゥーではなく両腕にしっかりと刺青が入った生粋のロッカーなのだ！「ロックは俺にとっての魂で、ワインの次に大切なもの」と自ら言うように、パンクロック、フュージョンロック、メタルロックなどあらゆるジャンルのロックを愛している！そして、その思いが、キュヴェの名前やエチケットの骸骨のデザインに反映されている！

ちなみに、今回リリースするマグマ・ロック！前は、玄武岩土壌のシラーと、花崗岩土壌のコンブララのボジョレーガメイのアッサンブラージュだったが、今回はコンブララのガメイ 100%で仕込んでいる！で、「肝心のコンブララは何処に？」とヴァンサンに聞いてみると「コンブララは名前がダサくロッカーの俺のイメージに合わない！」ということで抹消され、2015年からコンブララがマグマ・ロックに変わった！何ともややこしく分かりづらいが、ここはどうかご勘弁を…。

とにかく、そんなロッカーなヴァンサンだが、つくるワインはどれも粗さがなくて、丁寧なヴァンサンの仕事を感じられる素晴らしいモノばかり！本人には失礼だが…見た目とは全く違う繊細でエレガントなワインをつくり出す！収穫が終わった今も畑に毎日出ているというヴァンサン。彼曰く、やる作業がほとんどなくても、畑を観察するだけで色々勉強になるという。オーヴェルニュでシャウトする、ヴァンサン・マリ－をお見逃しなく～！

(2016.5.4.ドメーヌ突撃訪問&10.10.ドメーヌ突撃生電話より)